

部署名：腎センター



病床数：16床

スタッフ人数：師長1名・副師長1名・看護師7名・アシスタント1名
臨床工学技士5名・事務1名
男性看護師：1名（一輪の花！！）

部署の雰囲気：

中央病院の正面玄関から、2階に上がって端っこにある、腎センターの扉を開いてみてください。
笑顔のかわいい医師、イケメンの臨床工学技士、美人の看護師、イケメンの臨床工学技士、明るいアシスタントと事務職員が、あなたを待っています。
こんな職場があるんだと思う程のアットホームです。心が疲れている方はぜひお越しください。

部署の自慢できること：

透析なので、正月もゴールデンウィークも休まず勤務をしています。毎日会えるスタッフとは、家族以上の関係です。個性豊かでユニークなあなたは、腎センターへ引き寄せられることでしょう。
わが、腎センターでは年間約7400回の血液透析、特殊血液浄化も年間400回しています。
血液だけではなく、スタッフと関わることで、心も浄化できる?!と思います。

スタッフからのメッセージ：

明るく、楽しい職場で、一緒に働きましょう。
腎不全看護のスペシャリストになって、「患者に寄り添う看護師」を目指しましょう！

師長(管理者)からのメッセージ：中村 美穂

★好きな言葉★ピンチはチャンス！（常に、前向きに考えたいです）

腎センターは、血液透析・腹膜透析・在宅血液透析の腎代替療法に加え、血漿交換や白血球除去療法などの血液浄化を提供しています。

透析を開始する前の腎機能が低下している方は、9 東病棟に教育入院していただき、医師から腎臓の話に加え、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士から、腎機能を保つための大事なポイントを学びます。

腎機能がさらに低下した時は、透析を受けることになります。透析によって尿毒症症状が改善していくと共に、体調の改善を実感していくようになります。その時は、血液透析と腹膜透析を見学することで、自分の生活スタイルに合った透析を選択する事となります。

血液透析は週3回の治療となります。患者さんは月・水・金、もしくは火・木・土に来院していただき、治療を受けています。「透析は生活の一部」と捉え、スタッフは全力でサポートをしています。

また、腹膜透析は、お腹に液を溜めて透析を行う治療です。通院は月 1 回だけの在宅医療となりますので、仕事をしながら腹膜透析を続けている患者さんも多くいます。当院は国公立病院で腹膜透析患者数 NO1 となりました。これは、十分な説明と同意・教育のたまものであると、スタッフ一同やりがいを感じて取り組んでいます。

腎センターは、医師・看護師・臨床工学技士と共に、「患者の安全・安心」を提供します。また、医療スタッフ間では、和気あいあいとアットホームな雰囲気の中で、仕事をしています。是非、腎センターと一緒に働きましょう！お待ちしております。

